

1	事業名称	子ども体験遊びリンピック				
2	新規・継続	継続	3年目			
3	趣旨	子どもたちが様々な体験活動を行い、楽しさや達成感を感じる「子ども体験遊びリンピック」を実施することで、体験活動に親しむとともに体験活動推進の機運を高めることを目的とする。				
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日	期間
		1回	2014年11月3日(月・祝)	～		1日
5	実施場所	はびろ農業公園「みはらしファーム」				
6	募集人数	人				
7	共催・協力・後援	国立青少年教育振興機構				
8	参加者人数	209人				
9	参加者類型	子ども(小学生以下)135人、大人(中学生以上)74人				
10	参加者地域					
11	参加者分析	<ul style="list-style-type: none"> ・競技に興味を示した子どもが保護者と一緒に来て参加することがほとんどであったが、中には年配の方が単独で立ち寄ることもあり、幅広い年齢層の参加があった。 ・この事業への参加で初めて施設の存在を知ったという方も多かった。 				
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	
13	アンケートの主な記述					
14	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・家でも親子で楽しめるような、手軽で楽しい内容の競技にしたことで、その場限りで終わらない体験のきっかけを与えることができた。 ・競技の練習スペースを十分に設けたことで、子どもたちは練習を繰り返すうちに、高得点を取ることよりも体験そのものを楽しむように変化していく様子が伺えた。その結果、記録が振るわなくとも、満足そうに帰っていく親子が多くいた。 ・スタッフの人数を十分に配置できたことで、参加者に対して行き届いた対応ができ、施設に対して非常に良い印象をもってもらうことができた。 				
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者にとって、単なる一過性のイベント体験に終わらせず、その後の継続的な体験活動へとつなげていくためには、十分な人数のスタッフによる丁寧な参加者対応が欠かせない。今回のようなスタッフの確保を今後も安定して行っていけるか。 ・今回、想定していたよりも幼児の参加が少なかった。幼児期から広く体験活動に親しんでもらうために、幼児対象の競技以外でも、幼児が楽しめるような工夫をしていく方がよい。 				
16	担当者メモ	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の反省から、競技ルールをできるだけ分かりやすく、曖昧な部分が無いように設定し、掲示することで、メダルの獲得を目指す参加者から不平不満が出ないようにした。 ・参加者にとってわかりやすく、そしてスタッフの負担を減らすために、受付窓口を総合受付に一本化したことで、参加者情報の管理がしやすくなり、スタッフは担当競技の対応に専念できた。また、受付では他の参加者の個人情報が見えないような工夫をした。 				

プログラム展開		
日程・時間	プログラム	備考
8:00～9:00	活動準備	
9:00～16:00	競技実施	
16:00～17:00	片付け	



出展ブース全体の様子



「ドングリつまみリレー」(親子対象)



「右に左にハイタッチ」(幼児対象)



「ドングリごま回し」(小学生対象)
ドングリごま製作の様子